消防

1	概					況	349
2	火		災	統		計	354
3	救	急	• 求	汝 助	統	計	355
4	消		防	広	•	報	356
5	予					防	356
6	緊	急	通	信	状	況	359
7	消	防	水	利	状	況	359
8	消		ß	方		寸	359

1 概況

本市の自治体消防は、昭和23年(1948年)3月の消防組織法施行に伴い、同年4月に「熊本市消防本部」を 市庁舎内に設置して消防事務を開始したのがその始まりであり、以来、幾多の制度や機構の改編を経て、現在では、 市民に最も身近な消防機関として、消防業務を実施している。

消防局では、近年の多様化・激甚化・頻発化する各種災害に対応するため、各種装備、資機材等の整備や、多様化する市民のニーズに応えることのできる高度な知識・技術・行政スキルを持つ精強な消防職員の育成など、ハード・ソフト両面にわたる消防力の強化を図っている。

また、「自分の身は、自分で守る」を防災の基本コンセプトとし、自主防災クラブ、事業所の自衛消防組織等の活動支援や市民への応急手当等の普及啓発など、市民・地域(企業)・行政が三位一体となった「災害に強いまちづくり」を積極的に推進している。あわせて、明治以来、歴史ある消防団は、地域における消防防災の要であり、常備消防との連携のもと、活動拠点施設、車両、装備等の整備を図りながら、訓練や研修を行い地域の防災リーダーとしてその充実強化に努めている。

消防局は平成26年(2014年)4月に上益城郡益城町及び阿蘇郡西原村の常備消防事務を受託し、本市だけではなく近隣町村の住民への更なる消防サービスの充実強化を図っているほか、平成28年(2016年)4月1日の熊本市北消防署の運用開始をもって本市域の1区1消防署体制を確立し、各区において消防署・区役所・地域(消防団)の連携を強化しているところである。

加えて、令和2年度(2020年度)から管内の119番通報を一括処理する新たな「指令管制システム」の運用を開始し、 市民ニーズへの迅速な対応、そして、大規模災害時への対応も想定した消防機能の充実を図ったところである。

今後も市民の「安全・安心な暮らしの確保」に向け、本市の消防・防災体制の充実強化に努めていきます。

(1) 令和5年度(2023年度) 熊本市消防局主要事業

ア 火災予防対策の推進

- (ア) 市民への広報・啓発
- ① 人為的ミスによる火災を防ぐための広報啓発活動を推進する。
 - ・SNSやQRコード等を活用した積極的な広報啓発の実施
 - ・関係団体と連携した火災予防の推進
- ② 住宅防火対策を推進する。
 - 住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理の啓発
- ③ 市民への防火・防災啓発を推進する。
 - ・自主防災クラブ、幼少年消防クラブ、事業所の自衛消防組織等の活動支援
 - ・関係部局と連携した防火防災教育の実施
- ④ 防火対象物の防火安全対策を推進する。
 - ・違反対象物に対する是正措置の実施
 - 防火対象物の計画的な実態把握の推進
- ⑤ 市民の安全を確保するための予防体制の充実強化を図る。
 - ・予防技術資格者の育成及び知識・技術の伝達
 - ・液化石油ガス法に係る事務の適切な執行
 - ・保安3法、危険物規制、違反処理、火災調査等の専門的な知識を有する職員の拡充
- ⑥ 災害の教訓を風化させない取組を推進する。
 - ・災害活動写真等の記録及び保存の徹底
 - ・災害の教訓等の活用と後世への伝承

イ 消防体制の充実強化

(ア) 消防機能の充実

- ① 消防力強化のため、消防施設の適切な管理や各種消防車両・資機材等の計画的な更新を進める。
 - ・市公共施設等総合管理計画に基づく署所整備方針等の検討(西消防署・小島出張所・河内出張所・消防局庁舎)
- ② 1区1消防署体制の円滑な運用を推進する。
 - ・グループ業務制の推進による効率的な事務処理体制の構築
 - ・消防団、防火協力団体、関係部局等との更なる連携強化
 - ・任務に必要な有資格者の積極的な活用
- ③ 指令管制業務の充実強化を図る。
 - ・消防指令管制システムの円滑な運用
 - ・消防指令管制システムの中間更新に向けた検討
 - ・119番通報時の口頭指導の推進
 - ・Livel119の導入及び効率的な運用
- ④ 消防水利の充実強化を図る。
 - ・消防水利の計画的な配置
 - ・無蓋防火水槽の環境整備
 - ・契約防火水槽のあり方の検討
- ⑤ 業務のDX化を推進する。
 - ・火災予防分野における各種手続きの電子申請及びキャッシュレス決済の導入
 - ・ペーパーレス及びWeb会議等の積極的推進
 - ・ S P D (救急資器材管理供給システム) の導入
 - ・リモート講習(応急手当講習や防火啓発活動等)の推進

(イ) 救急救助体制の充実

- ① 救急救助等に関する研修や資格取得など、人材育成による消防技術の向上や資機材の整備等を推進する。
 - ・各種研修による職員の育成や女性活躍推進
 - ・警防体制の強化に繋がる方策の検討
 - ・警防活動上必要な資格、免許等の計画的な取得
 - ・日勤救急隊の運用等による救急隊員の負担軽減及び適正な労務管理の推進
- ② 医療機関との連携による救急業務の質の向上を図る。
 - ・指導救命士、救急救命士及び救急有資格者への教育体制の強化
 - ・救急ワークステーション等による医療機関との連携強化
 - 医療機関と連携した救急活動検証の推進
- ③ 災害対応体制を強化する。
 - ・特殊災害 (テロ災害等) への対応体制の強化
 - ・大規模災害等での情報収集体制の強化
 - ・ドローンを活用した災害対応体制の整備
- ④ 大規模集客イベント等に備えた消防体制の強化を進める。
 - ・世界マスターズ水泳選手権大会及び国際バドミントン大会開催に向けた消防体制の強化
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症等への対応体制を強化する。

- ・保健所等との連携による搬送体制の強化
- 救急隊員の感染予防対策の徹底
- ・感染防止資器材の計画的な備蓄

(ウ) 広域的な災害対応体制の強化

- ① 大規模災害等の発生時における応受援体制を強化する。
 - ・緊急消防援助隊訓練等を通した広域応援体制の充実及び連携強化
 - ・国、県、関係機関等と連携した災害対応体制の充実強化
 - ・G7広島サミット消防特別警戒体制の強化
- ② 消防広域化や連携・協力(指令センターの共同運用等)に係る検討を行う。

ウ 地域の災害対応力の強化

(ア) 消防団の体制強化

- ① 消防団への入団促進を図る。
 - ・新規団員の確保等に向けた積極的な取組の推進
 - ・消防団の組織環境づくりの促進
 - ・消防団の活性化に向けた検討
- ② 消防団活動の充実強化を推進する。
 - ・消防署との連携強化による災害対応能力の向上
 - ・訓練体制の充実と資機材活用力の向上
 - ・女性団員のスキル向上と活動環境の充実強化
 - ・災害対応団員の導入と防災サポーターの育成指導
 - ・消防団機械倉庫の計画的な整備及び改修
 - ・消防団業務のDX化の推進

(イ) 市民の救護能力の向上

- ① 応急手当等の普及啓発を推進する。
 - ・各種救急講習におけるWeb講習の積極的な活用
- ② 高齢者福祉施設及び在宅医療・介護関係者との連携を強化する。
 - ・高齢者福祉施設等の緊急時の対応力の向上

(2)消防職員・消防車両等配置状況

	2) 泪[J 4BX	,只	- /1					但1	ハル	ւ											,	, TP 41			. 2 ()	3年	-) -	± 月	ΙH	5/11	エノ
	区 分	消	消	消	消	人消	消	消	消	消		ポ	B	梯	救	特	特	大	化	水	車支	災	緊	 火	司	指	軽	高	広	連	燃	後	\vdash
\															助	別	殊	型除	,_			害	急					規	報		*	方	
		防	防		防	防	防	防	防			ン	ン			高	災	染シ				対応	資機	災			消	格					
		司	E	防	司	司	司	士	副	防	計	プ	ク	子	エ	度工	害対	スティ	学	槽	援	多	材	調	令	揮	防	救	查	絡	補	支	計
局	署別	•			令	,	令		士						作	作	応	ム 搭 載				目的	搬送	査				急	察		給	援	
/IIJ	41 3/1	監	監	監	長	令	補	長	長	±	500	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	
	総計	1	3	13	26 (3)	105 (5)	217 (10)	308 (10)	58 (2)	67 (3)	798 (33)	15	11	5	6	1	1	1	1	1	1	1	3	1	7	5	19	31	12	15	1	1	139
	局長等	1									1																						
	総務部総務課		1	1	2	6	7	4		13	33																			2			2
	管理課			1	1	3	4	(1)		10	(1)																			2			2
	予防部		1				(1)				(1)																						
消	予防課			1	1 (1)	2	2	1			7 (1)													1					1				2
防	指導課			1	1	3	2	3			10																		2				2
局	警防部		1	1							2																						
	警防課				2	3	6	4			15										1	1			1								3
	情報司令課			1	1	7	12 (1) 3	5 (1)	1 (1)		27 (3) 8																		1				1
	救急課			1	1	1	(1)	2	1		(1)																			1			1
	計		3	7	9 (1)	25	36 (3)	(2)	1 (1)	13	114 (7)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	4	5	0	0	13
中	本署			1	3	12 (1)	23 (2)	36 (2)	(1)	8	90 (6)	1		1	1	1			1						1	1	1	3	2	1			14
中央消	南熊本庁舎						3	6			9	_															1	1					2
防署	出水出張所					1 13	8 31	7	1 8	2	19	1															1	1					3
	#			1	3	(1)	(2)	(2)	(1)	10	(6)	2	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	3	5	2	1	0	0	19
	本 署			1	3	(1)	(2)	(1)	3	7	(4)	1	1	1	1		1	1							1	1	1	2	1	1			13
東消防署	託麻出張所					1	8	8		2	19		1														1	1					3
署	小山 "					1	4	8	4	2	19		1															1		1			3
	# 			1	3	(1)	32 (2)	(1)	7	11	108	1	3	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	4	1	2	0	0	19
	本 署			1	3	12 (1)	23 (2)	28 (2)	3	5 (2)	75 (7)	1	1	1	1								1		1	1	1	2	1	2			13
:	池田庁舎						3	5	1		9	_															1	1					2
西	田崎出張所					1	4	9	2	3	19	1								1							1	1					4
消防署	小島 //					1	4	9	4	1	19	1															1	1					3
	島崎 //						7	8	4		19	1															1	1					3
	河内 //					1 15	42	10	1	3	19	1															1	1					3
	#			1	3	(1)	(2)	(2)	14	(2)	(7)	5	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	6	7	1	2	0	0	28
	本署			1	(1)	12	16	(2)	7	3	(3)	1	1	1	1								1		1	1		2	2	1		1	13
	川尻出張所					1	6	8	1	3	19	1															1	1					3
南消防署	飽田天明 "					1	4	10	2	2	19		1														1	1					3
署	富合〃					1	4	10	1	3	19 19		1														1	1					3
	城南 //				^	(1)	(1)	10	4		(2)	1															1	1					3
Щ	1			1	(1)	16 (1)	34 (1)	63 (2)	15	11	143 (5)	3	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	4	6	2	1	0	1	25
	本 署			1	3 (1)	12 (1)	16	(1)	3	6 (1)	65 (4)		1	1	1								1		1	1	1	2	2	1		<u> </u>	12
北	清水出張所					1	4	9	3	2	19	1															1	1				<u> </u>	3
消防署	楠 //					1	6	7	3	2	19		1														1	1					3
-ei	植木〃				3	15	4	11	3	10	19	1	1														1	2					5
} +	計			1	(1)	15 (1)	30	51 (1)	12	10 (1)	122 (4)	2	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	4	6	2	1	0	0	23
益城西	本 署			1	2	6	10	20			39	1	1		1										1			2		2	1	<u> </u>	9
原消	西原出張所					1	2	7	1		11	1																1		1			3
防署	計	: B = -		1	2	7 # 155 to F	12	27	1	F Silv Bet.	50	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	3	1	0	12
(注) 定員870人 実 () は女性消!	員798	人(518	人は関	目係部月	司等へ	出向、	13人に	t消防 ²	字校初	任科ス	、校)																				

定員870人 実員198人(2518人は関係部局等〜出回、13人は消助学校が仕替人校) ()は女性消防支員を再掲しているもの ○印は、南熊本及び池田庁舎の職員が本署に配置されている職員であるため、本署の職員数から再掲しているもの

(3) 各種協定等の状況

協定等の種別	協定先の市町村等	業務の種類	締結年月日
熊本県消防相互応援協定	熊本県下全市町村、消防組合並び に事務組合及び広域連合	火災・その他の災害	平成27年4月1日
九州自動車道等における消防相互応援協定	熊本県内の九州自動車道沿線市 町村並びに消防組合、事務組合及 び広域連合	火災・その他の災害	平成27年4月1日
九州自動車道等における消防相互応援協定に基づく覚書	熊本県内の九州自動車道沿線市 町村並びに消防組合並びに事務 組合及び広城連合	火災・その他の災害	平成27年4月1日
嘉島ジャンクションにおける消防相互応援に関する申合せ 事項	上益城消防組合	火災・その他の災害	平成27年4月1日
熊本県地域救急医療情報センターの管理運営に関する協定	熊本県	情報センターの管理及び 運営	昭和54年12月10日
都市ガス災害対策に関する覚書	西部ガス株式会社熊本支社	都市ガスに関する火災・爆発・漏えい及び CO 中毒事故等の防止及び鎮圧	平成26年11月1日
大規模特殊災害時における広域航空消防応援	各都道府県の市町村	調査・火災・救助・救急救 援出場(消防ヘリの要請)	昭和61年5月30日
立相格·米克·卢利·土尔·英田)× / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	熊本市立市民病院	救急	平成3年1月16日
高規格救急自動車の運用に係る協力に関する覚書	熊本市医師会熊本地域医療センター	救急	平成6年10月20日
武蔵ヶ丘地区の消防相互応援に関する覚書	菊池広域連合消防本部	火災	平成27年4月1日
	能本家十字病院	救急	平成8年4月1日 平成10年2月12日
救急救命処置に関する覚書	熊本医療センター 済生会熊本病院	救急 救急	平成10年2月12日 平成11年3月30日
力及心域外的な色質では、対象の	熊本大学病院	救急	平成13年3月30日
	熊本機能病院	救急	令和元年6月1日
震度情報ネットワークシステムにおける熊本県と熊本市の 設置及び管理・運用に係る協定	熊本県	地震情報ネットワークシ ステム	平成8年10月21日
熊本県消防防災へリコプター応援協定	熊本県	災害	平成13年3月28日
多数傷病者災害における熊本市と日本赤十字社熊本県支部 の相互協力に関する協定	日本赤十字社熊本県支部	災害救助	平成16年3月24日
火災救急等災害の緊急通報転送に関する協定書	菊池広域連合 宇城広域連合 上益城消防組合	災害通報の転送	平成 17 年 11 月 30 日
枚急ワークステーションの設置に関する協定書	熊本赤十字病院 熊本医療センター 済生会熊本病院	救急ワークステーション	平成25年3月27日
俵山トンネルの非常用通報装置設備に関する覚書	熊本県県北広域本部阿蘇地域振 興局	非常用通報装置設備	平成26年2月18日
俵山トンネルにおける消防相互応援に関する覚書	阿蘇広域行政事務組合消防本部	災害	平成26年3月24日
空港保安防災通信装置の設置等に関する覚書	熊本国際空港株式会社	通信装置の設置、維持管理	令和元年 12 月 13 日
緊急消防援助隊指揮支援隊の活動に関する協定書	熊本県	緊急消防援助隊	平成26年4月1日
熊本空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	熊本国際空港株式会社	災害	令和元年 12 月 13 日
熊本県防災行政連絡所(防災関係機関)の管理運営に関する協定書	熊本県	防災行政無線	昭和54年2月10日
熊本県防災情報ネットワークシステム防災端末装置の管理 運営に関する協定書	熊本県	防災情報ネットワーク	平成21年2月3日
映像情報の交換及び配信に関する協定書	熊本県	映像情報の交換・配信	平成29年3月22日
映像情報の交換及び配信に関する協定書に基づく覚書	熊本県警察本部	映像情報の取扱い	平成29年3月27日
		消火栓及び消防水利等の	令和3年4月1日
消火栓の設置及び消防水利等の維持管理に関する協定書	熊本市上下水道事業管理者	維持管理	
消火栓の設置及び消防水利等の維持管理に関する協定書 感染症患者等の移送に関する協定書	熊本市上下水道事業管理者	推持管理 救急	平成30年3月27日
			平成30年3月27日 平成29年4月1日
感染症患者等の移送に関する協定書	熊本県	救急 熊本市電軌道上等での災	
感染症患者等の移送に関する協定書 熊本市電軌道上等における消防活動等に関する申合せ	熊本県 熊本市交通局	救急 熊本市電軌道上等での災 害対応	平成29年4月1日
感染症患者等の移送に関する協定書 熊本市電軌道上等における消防活動等に関する申合せ 海上における船舶火災の消火活動に関する業務協定 災害時における支援活動に関する協定書	熊本県 熊本市交通局 熊本海上保安部 熊本地区生コンクリート協同組合	救急 熊本市電軌道上等での災 害対応 海上における災害対応 災害支援	平成29年4月1日 平成30年3月1日 平成30年9月21日
感染症患者等の移送に関する協定書 熊本市電軌道上等における消防活動等に関する申合せ 海上における船舶火災の消火活動に関する業務協定	熊本県 熊本市交通局 熊本海上保安部	救急 熊本市電軌道上等での災 害対応 海上における災害対応	平成29年4月1日 平成30年3月1日

2 火災統計

(1) 火災発生状況

	区分			火	災	種	別			り災	状況			焼損i	面積	
		火災件数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	焼損棟数	世帯	人員	死者	負 傷 者	建物床面積	林野	損害額 (千円)
年・	月人													(m^2)	(a)	
	1	16	8	2	1			5	8	13	24		6	83	3	12,093
	2	24	14			1		9	25	21	49	3	2	314		18, 285
	3	21	10	4	3			4	18	18	43	1	7	600	890	52, 960
	4	15	8	1	1			5	12	7	12	1	1	702	10	8, 434
	5	23	12		3			8	20	11	19	1	9	608		53, 763
R4	6	19	11		4			4	15	7	17		4	369		8, 435
K4	7	13	7		3			3	7	3	13					290
	8	14	9		1			4	12	8	11	2	1	160		2, 177
	9	13	7					6	7	8	21		1	90		12, 189
	10	17	13		1			3	21	11	27		2	503		17,076
	11	22	15	1	1			5	17	10	20	1	4	448		35, 302
	12	16	8		2			6	9	5	10		2			522
R4	計	213	122	8	20	1	0	62	171	122	266	9	39	3,877	903	221, 526
R3	計	169	113	6	12	1	0	37	177	120	264	15	29	6, 562	1,529	251, 553
R2	計	171	98	12	12	1	0	48	120	110	211	6	20	2, 745	133	145, 011
H31 (F	祖)計	185	115	5	20	0	0	45	183	99	245	4	43	5, 115	418	415, 605
Н30	計	202	126	7	20	0	0	49	181	129	285	5	33	3, 829	226	222, 843

[※]消防事務を受託している上益城郡益城町及び阿蘇郡西原村を含む。

(2) 原因別被害件数

年 原 因	H30	R元	R2	R3	R4
たばこ	12	12	14	13	23
たき火	35	28	29	27	33
火 遊 び	3	2	1	2	6
こんろ(天ぷら油含む)	26	23	16	18	21
放火(疑い含む)	23	21	21	9	31
風呂かまど	1	2	1	1	0
ストーブ	7	5	7	8	6
マッチ・ライター	2	5	3	2	4
煙 突・煙 道	0	0	1	0	0
電灯・電話等の配線	16	11	11	15	11
電 気 機 器	7	7	14	6	11
不明	10	26	18	13	8
そ の 他	60	43	35	55	59
合 計	202	185	171	169	213

[※]消防事務を受託している上益城郡益城町及び阿蘇郡西原村を含む。

(3)火災・警戒などの出場状況

(令和4年 (2022年))

_								
別	署 別	計	中央署	東署	西署	南署	北署	益城 西原署
	件 数	213	41	38	35	36	41	22
火 災	出場車両	1,021	178	207	180	170	204	82
	出場人員	3, 534	619	713	609	606	695	292
体却よの	件 数	34	3	3	8	9	9	2
	出場車両	122	9	10	31	28	37	7
小姐不守	出場人員	437	33	38	106	100	134	26
混油	件 数	33	2	6	6	6	7	6
	出場車両	126	7	22	22	22	27	26
争以守	出場人員	420	23	78	68	75	90	86
白し却なの	件 数	368	160	63	55	40	42	8
	出場車両	1,390	584	222	189	175	178	42
* N/V [下到]	出場人員	4, 959	2,084	809	675	623	626	142
	件 数	33	7	6	9	5	5	1
誤認虚報	出場車両	158	36	27	49	17	21	8
	出場人員	548	124	94	170	59	72	29
	件 数	100	27	16	7	20	22	8
その他	出場車両	399	124	58	20	81	81	35
	出場人員	1,379	429	207	68	281	281	113
	件 数	568	199	94	85	80	85	25
小 計	出場車両	2, 195	760	339	311	323	344	118
	出場人員	7, 743	2,693	1, 226	1, 087	1, 138	1, 203	396
·	件 数	781	240	132	120	116	126	47
合 計	出場車両	3, 216	938	546	491	493	548	200
	出場人員	11, 277	3, 312	1, 939	1, 696	1, 744	1,898	688
	焼却火の 不始末等 漏洩 事故等 自火報等の ベル作動 誤認虚報 その他	大災 出場車両 出場人員 件 焼却火の 不始末 件 漏洩 事故等 件 自火報等の ベル作動 出場人員 性場車人員 性場車人員 件 は場車両 出場人員 中 世場車両 出場人員 性 出場人員 件 その他 出場車両 出場人員 件 本の他 出場車両 出場人員 件 本の他 出場車両 出場人員 件 本の他 出場車両 出場人員 本の他 出場車両 出場人員 本の他 出場車両 出場人員 本の他 出場車両 出場人員 本の他 出場車両 出場人員 本の世 出場車両 出場車両 世 本の地 出場車両 出場車両 世 本の地 出場車両 出場車両 世 本の地 出場車両 日本 世 本の 出場車両 日本 世 本の 出場車両 日本 世 本の 出場車両 日本 世 本の 出場車 日本 世 本の 出場車 日本 世 本の 出場車 日本 世 本の 出場車 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	大災 出場車両 1,021 出場人員 3,534 (件数 34 出場車両 122 出場人員 437 (件数 33 出場車両 126 出場人員 420 自火報等のベル作動 出場車両 1,390 出場人員 4,959 (件数 33 誤認虚報 出場車両 158 出場人員 548 (件数 100 その他 出場車両 399 出場人員 1,379 (件数 568 小計 出場車両 2,195 出場人員 7,743 (件数 781 出場車両 3,216	大災 出場車両 1,021 178 178 13,534 619	大 災 出場車両	大災 出場車両 1,021 178 207 180 180 18人員 3,534 619 713 609 609 619 713 609 619 713 609 619 713 609 619 713 609 619 713 609 619 713 609 619 713 609 619 713 609 619 619 619 713 619 619 619 713 619 619 619 619 713 619 619 619 713 619	大災 出場車両 1,021 178 207 180 170 出場人員 3,534 619 713 609 606 株却人の	大 災 出場車両

[※]消防事務を受託している上益城郡益城町及び阿蘇郡西原村を含む。

3 救急・救助統計

(1) 救急活動の状況

	区分	111				事	故	5	種	別			
		出場件数	火	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加	自損行為	急	その
	年・月	奴	災	害	故	故	害	技	傷	害	為	病	他
	1	3, 544	12	0	0	173	22	7	555	12	29	2, 405	329
	2	3, 107	16	0	0	136	19	4	462	8	23	2, 128	311
	3	3, 263	17	0	1	181	21	18	483	6	30	2, 188	318
	4	3, 197	10	0	2	202	20	23	479	8	33	2, 127	293
	5	3, 289	21	0	0	194	23	34	475	20	30	2, 159	333
R	6	3, 481	11	0	0	221	31	51	563	18	40	2, 211	335
4	7	4, 357	4	0	0	204	54	28	681	12	38	2, 969	367
	8	4, 302	8	0	0	195	39	30	646	14	43	2, 954	373
	9	3, 596	8	4	2	204	23	28	573	14	34	2, 411	295
	10	3, 449	18	0	1	224	22	27	578	7	28	2, 177	367
	11	3, 635	13	0	0	234	16	15	558	10	28	2,420	341
	12	4, 474	5	0	1	245	25	14	636	16	34	3,063	435
	R4 計	43, 694	143	4	7	2, 413	315	279	6,689	145	390	29, 212	4,097
	R3 計	36, 666	141	2	7	2, 304	259	251	5, 625	101	355	23, 821	3,800
	R2 計	35, 016	110	7	15	2, 311	294	243	5,844	136	354	22, 164	3, 538
Н	31 (R1)	40, 054	161	1	9	2, 943	321	364	6, 122	136	310	25, 809	3,878
	30 計	39, 034	150	2	5	2, 951	329	363	6, 272	139	316	24, 911	3, 596

[※]消防事務を受託している上益城郡益城町及び阿蘇郡西原村を含む。

(2)救助活動の状況

(令和4年 (2022年))

事故種別件数及び人員	火災	交通事故	水難事故	自然災害	よる事故	よる事故	酸欠事故	破裂事故	そ の 他	合計
救助出場件数(件)	6	76	9	0	4	152	0	0	73	320
救助活動件数 (件)	6	37	5	0	4	97	0	0	47	196
救助人員(人)	4	46	4	0	4	78	0	0	43	179

[※]消防事務を受託している上益城郡益城町及び阿蘇郡西原村を含む。

4 消防広報

(1) 報道関係機関等を通じた広報の実績

(令和4年度(2022年度))

媒体	テレビ	ラジオ	新聞	SNS	機関誌	合計
回数	60	33	40	255	15	423

(2) 幼少年消防クラブの活動状況回数

(令和4年度(2022年度))

	クラブ数	クラブ員数	行事実施回数
幼 年	217	6, 421	421
少年	2	43	2

[※]消防事務を受託している上益城郡益城町及び阿蘇郡西原村を含む。

(3) 広域防災センター入館状況

(令和4年度(2022年度))

団	体	一 般	合 計
280団体	8,752人	166人	8,918人

(4)消防音楽隊活動状況

(令和4年度(2022年度))

消防関係	市関係	国県関係	その他	合 計
4	3	1	1	9

5 予防

(1) 危険物製造所等

(令和5年(2023年)4月1日現在)

			貯		蔵	所				取	扱 所		
製造所	屋内貯蔵所	貯蔵 所	貯蔵 所	貯蔵所	貯蔵 所	貯蔵 所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	小計	合計
6	135	63	22	302	0	135	12	669	295	7	150	452	1, 127

[※]消防事務を受託している上益城郡益城町及び阿蘇郡西原村を含む。

(2) 同意建物工事別件数(消防法第7条)

(令和4年度(2022年度))

问心足为工	ナルコータ	(IDM)AM	<i>'</i> ~ /				(11	11 1 1 × (2022 + 1×)
種別 年度	新築	増築	改築	移転	修繕	模様替え	用途変更	合 計
平成30年度	1,879	77	4	2	1	0	32	1, 995
令和元年度	1, 413	77	0	0	0	0	13	1, 503
令和2年度	994	133	1	1	0	1	11	1, 141
令和3年度	962	134	3	0	0	0	9	1, 108
令和4年度	926	138	2	1	1	1	10	1,079

[※]消防事務を受託している上益城郡益城町及び阿蘇郡西原村を含む。

(3) 防火対象物概況

·	(3) 防火対象物構造 (章和5年(2023年)4月1日現在)(単位:敷地)									
項	別	署別	計	中央署	東署	西署	南署	北署	益城西原署	
		計	24, 378	6, 808	5, 729	3, 822	3, 581	3, 621	817	
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	9	4	2	1	1		1	
	П	公会堂、集会場	23	6	4	5	4	3	1	
	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等	6	5	1					
2	П	遊技場、ダンスホール	49	11	11	6	8	10	3	
	ハ	性風俗店舗等	0							
	Ξ	カラオケボックス等	18	5	2	2	3	6		
3	イ	待合、料理店等	9	1		3	3		2	
J	П	飲食店	908	294	218	80	129	140	47	
	4	百貨店、マーケット、店舗、展示場	1,060	207	296	139	202	184	32	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	173	61	22	43	3	31	13	
J	П	寄宿舎、下宿、共同住宅	11, 520	3, 245	2, 904	1, 958	1, 459	1, 702	252	
	イ	病院、診療所、助産所	682	166	172	103	108	107	26	
6	П	自力避難困難者入所福祉施設等	300	24	63	57	64	70	22	
О	ハ	老人福祉施設、児童養護施設等	800	118	217	124	155	149	37	
	11	幼稚園、特別支援学校	52	16	10	10	7	7	2	
	7	学校等	245	74	37	54	32	36	12	
	8	図書館、博物館、美術館等	16	6		2	3	3	2	
	イ	蒸気浴場、熱気浴場等	48	40	2	2	1	2	1	
9	П	イ以外の公衆浴場	12	1	1	2	1	7		
1	0	停車場、船舶等の発着場	5	2		1	1	1		
1	1	神社、寺院、教会等	166	54	15	53	22	16	6	
10	イ	工場、作業場	1, 063	59	226	158	282	227	111	
12	П	映画スタジオ、テレビスタジオ	0							
10	イ	自動車車庫、駐車場	107	37	14	25	17	12	2	
13		飛行機の格納庫	2						2	
1	4	倉庫	1,077	77	320	146	336	144	54	
1	.5	前各項に該当しない事業所	2, 174	630	450	328	324	328	114	
10		特定防火対象物を有する複合用途	2, 426	1, 081	450	293	260	292	50	
16	П	イ以外の複合用途	1, 411	574	290	227	154	143	23	
16	の2	地下街	0							
16	の3	地階地下道	0							
1	17	重要文化財	11	5	1		2	1	2	
1	18	アーケード	6	5	1					
		t .			1				1	

(4) 用途別高層建築物の状況

(令和5年(2023年)4月1日現在)(単位:棟)

_	_	加速剂向温度采物等机	ı	Ī		(令和5年(2	1023年)4月	1日現任)	(単位:棟)
項	別	署別	計	中央署	東署	西署	南 署	北署	益城西原署
		計	610	327	52	206	14	11	0
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	1		1				
1	口	公会堂、集会場	0						
	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等	0						
2	П	遊技場、ダンスホール	0						
۷	ハ	性風俗店舗等	0						
		カラオケボックス等	0						
3	イ	待合、料理店等	0						
3	П	飲食店	1	1					
4	4	百貨店、マーケット、店舗、展示場	0						
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	26	14]	10	1		
Э	П	寄宿舎、下宿、共同住宅	398	191	44	144	12	7	
	イ	病院、診療所、助産所	5	1	3	1			
C	П	自力避難困難者入所福祉施設等	0						
6	ハ	老人福祉施設、児童養護施設等	1	1					
	=	幼稚園、特別支援学校	0						
	7	学校等	14	10		4			
8	8	図書館、博物館、美術館等	1	1					
0	イ	蒸気浴場、熱気浴場等	0						
9	П	イ以外の公衆浴場	0						
1	.0	停車場、船舶等の発着場	0						
1	.1	神社、寺院、教会等	0						
10	イ	工場、作業場	2				1	1	
12	П	映画スタジオ、テレビスタジオ	0						
10	イ	自動車車庫、駐車場	30	19]	10			
13	П	飛行機の格納庫	0						
1	.4	倉庫	0						
1	.5	前各項に該当しない事業所	46	30	1	14		1	
10	イ	特定防火対象物を有する複合用途	50	37	1	12			
16	П	イ以外の複合用途	35	22		11		2	
1	.7	重要文化財	0						
—		1		I		i	1	I	

※ 高層建築物:高さ31メートルを超える建築物

6 緊急诵信状況

(令和4年(2022年))

来心坦旧水水						(市和4平(2022年))
			119智	番着信件数		
種別	固定	携帯	IP電話	FAX Eメール NET119	合 計	令和3年
火 災	108	376	21	0	505	536
救 急	12, 894	26, 489	3, 117	5	42,505	35,971
救 助	27	207	6	0	240	213
警 戒	118	373	6	0	497	485
その他災害	6	52	2	0	60	76
非常災害	0	0	0	0	0	0
通報訓練	1, 591	407	186	0	2,184	2,086
病院照会	103	985	51	0	1,139	748
回線試験	302	115	3	0	420	432
いたずら	17	136	1	0	154	260
まちがい	460	2, 563	76	0	3,099	2,892
その他	1,049	5, 236	215	0	6,500	5,154
合 計	16, 675	36, 939	3, 684	5	57,303	48,853

7 消防水利状況

(令和5年(2023年)4月1日現在)

ロハ	消り	K栓	防火	水槽	プール
区分	公設	私設	公設	私設)—/\bu
箇所数	18, 516	83	798	972	160

8 消防団

概要

消防団は、火災現場等での活動はもとより、災害予防の面でも常備消防と常に連携した活動を実施し、地域防災のリーダーとして活躍している。

熊本市消防団は、昭和45年(1970年)11月1日、託麻村の熊本市編入を機会に熊本市北・南・川尻の消防団を 1団に統合、熊本市消防団として熊本市を6ブロックに編成し活動を開始、その後、平成3年(1991年)2月の旧飽 託郡四町との大合併に伴いさらに4ブロックを増設し10ブロックとなり、消防行政に欠かすことのできない組織となった。

平成11年(1999年)10月1日「ブロック」を「方面隊」と名称変更するとともに、第3方面隊を二分割し、市内を第11方面隊とする機構改革を行った。さらに、平成14年(2002年)4月には熊本市消防団に初の女性消防団員31人を採用、令和4年(2022年)4月1日現在、機能別消防団員の女性団員を含め221人まで増加し、応急手当の普及や予防広報に大きく貢献している。また、平成20年(2008年)10月6日の旧富合町との合併により第12方面隊を新設、さらに平成22年(2010年)3月23日の旧植木町及び旧城南町との合併に伴い、15方面隊87分団1トランペット隊の組織となった。

平成24年(2012年)4月1日、政令指定都市へ移行したことを踏まえ、平成26年(2014年)4月1日、区制に合わせた16方面隊87分団1トランペット隊への組織改編を行った。更に、平成28年(2016年)4月1日、常備消防において1区に1消防署となる5消防署体制を開始したことから、消防団においても各区、消防署との連携強化を図り、より市民のニーズに対応した愛される消防団を目指している。

(1) 組織

令和5年(2023年)4月1日現在

1団 16方面隊 87分団 1トランペット隊 200部 定数:4,800人 実数:4,073人

方面隊名・実員数 分団名 (下段:実員数) 機能別 トランペ 消防団本部 団本部 団員 ット隊他 (団長1名含む) 183 (22) 第1方面隊 Ш 砂取 出水 白 山 春 竹 本 荘 出水南 第2方面隊 黒 髪 白 川 大 江 託麻原 慶徳 城 東 碩 台 壺 川 新 第3方面隊 健 軍 津 尾ノ上 画 図 東 町 泉ヶ丘 第4方面隊 原 託麻西 託麻東 月 出 託麻南 託麻北 第5方面隊 池田 白 坪 古 町 春 日 袁 城 西 第6方面隊 池上 高 橋 城 山 松尾東 松尾西 松尾北 小 島 中 島 第7方面隊 内 第8方面隊 御 幸 日 吉 力 合 川 尻 田迎 田迎南 城 南 第9方面隊 飽田西 飽田東 飽田南 第10方面隊 中 緑 銭 塘 奥古閑 川 口 第11方面隊 第12方面隊 隈 庄 豊田 杉上 女性 弓 削 第13方面隊 城 北 麻生田 武 蔵 清 水 龍 田 高平台 第14方面隊 北部東 西 里 女性 第15方面隊 田原 第16方面隊 山 東 吉 松 山本田底 副団長 団長 分団長 副分団長 部長 班長 団員 階級別団員数 (機能別団員を除く。) 3,091 (2)

(3)

() は女性団員を再掲

(10)

(103)

(2) 消防ポンプ数

令和5年(2023年)4月1日現在

区分	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付積載車	小型動力ポンプ
台数	0	178	91

(3) 年額報酬及び出動報酬

令和5年(2023年)4月1日現在

階	級	別	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班長	団 員
年名	類報酬(P	円)	82, 500	69, 000	50, 500	45, 500	37, 000	37, 000	36, 500
※機能別回	※機能別団員にあっては、8,000円								

	区分				出動報酬額 (円)		
訓	練	出	動	等	4時間ごと	4,000	
研修、	講習又は訓練の	ため本県消防	ち学校に入校	したとき	4時間ごと	4, 000	